

令和2年11月27日

盛岡市長
谷藤 裕明 様

盛岡市議会 会派「市政クラブ」令和3年度予算要望

市政クラブ
中村 亨
高橋重幸
鈴木一夫
伊勢志穂
竹花せい子
野中靖志
大谷陽介
加藤麻衣

令和3年度事業の予算要望について

盛岡市議会会派「市政クラブ」では別紙のとおり事業の予算化を要望いたします。何卒、予算化および実施に向け、ご高配頂きますようお願い申し上げます。
なお、回答につきましては早期に書面にてお知らせ頂ければ幸いです。また、各担当課から結果についてのヒヤリングを希望いたしますので宜しくお取りはかりをお願いします。

◎ 市長公室関係

- 連携中枢拠点都市として広域市町と連携し、産業振興や医療福祉・防災・環境・交通・教育の連携を促進されたい。特に、施設の機能分担や県との二重行政の解消を促進されたい。
 - ILC 誘致の関係者と緊密に連携を図り、国に働きかけを強めていただきたい。
 - 10 カ年での都市構想や、2040 年代の各地域別の人口予測を作製・公表したうえでの長期的地域計画の策定、単年度決算では見えない中期的な決算の視点で市の施策を計画して頂きたい。
 - 石川啄木や新渡戸稲造など盛岡の先人の偉業を考慮して交流を図っていただきたい。
 - ICT や AI、IOT の推進を踏まえ総合計画や各種計画に盛り込み早期の導入を図られたい。
- 特に、定型・定量業務における効率化の推進を図られたい。
- 市長と多様な市民が盛岡市のビジョンについて意見交換する機会を定期的に設けていただきたい。
 - SDGs の理念を市の施策に反映していただきたい。

◎ 総務部関係

- 連携中枢拠点都市として広域市町と連携し、人事交流を促進されたい。
- 東日本大震災被災者に対する支援について支援継続をされたい。
- 災害が起きた場合、被害者に対する支援が速やかに行われるような体制を作っていただきたい。特に現行の被災者生活再建支援制度は持ち家の被害を基に実施されるため支援の取りこぼしを生み出している。災害以降の生活設計に支障を来たさない制度に改革するよう尽力していただきたい。
- 避難所の備蓄とその充実を図られたい。
- 職員を市外県外国外へ研修で派遣されたい。また職員コンプライアンス教育の徹底をされたい。
- 職員 OB を緊急時予備役として招集できる体制を構築されたい。
- 職員のワークライフバランスを推進するとともに残業を調査され適正な職務環境であるか確認をされたい。時間外労働の削減を図られたい。
- 地域防災計画の市民への浸透を図るとともに自主防災隊組織の強化をされたい。特に水防と土砂災害から市民の生命を守る形での周知徹底をされたい。
- 女性や障がい者、性的マイノリティー、外国人といったマイノリティーに配慮した避難所運営をされたい。その運営指針を地域防災リーダーや市民に伝えていただきたい。
- 河川管理について、災害勃発時の適切な対応が行えるよう国・県との情報交換を密接に行っていただきたい。
- 仮称南青山アパート災害公営住宅の住民に対し、地域住民との話し合いを充分に行い、

入居者への見守りやメンタルケアを充分に行い地域に暖かく迎えられるよう配慮していただきたい。

- 職員採用では、障がい者法定雇用を維持するようにされたい。
- 会計年度任用職員については、処遇改善を行われたい。
- 市役所の建て替えについて、場所や合併協定を含め、市民アンケートも実施して頂きたい。早期に構想やスケジュールを明らかにされたい。
- 条例を制定するだけでなく、条例の廃止や時代にあった条項の変更も行われたい。
- 未利用市有財産の処分や活用を促進されたい。旧消防署跡地を貸駐車場にするなど当面の利用もされたい。
- 自治体クラウドにおける行程や方針を早期に示されたい。
- 情報公開を更に進める観点からも、書類の電子化の促進をされたい。
- 賃金条項を設けた公契約条例を制定されたい。

◎ 財政部関係

- 県と市の連携による施設の合築を促進されたい。
- 地域の税収が一定程度地区で執行できる枠組みを検討されたい。
- 予算編成について、部局横断的かつ弾力的な運用や地域要望にそった施策を実施されたい。
- 公共施設等整備基金の目標額を定められたい。あわせて計画的な積み増しを図られたい。
- 岩手競馬の収支および今後の運営の見通しの説明とあわせて融資についての回収の方向性を示されたい。安定的な競馬事業のための体制づくりを強化されたい。
- 未収金解消のための施策の実施と収納率の向上を図られたい。同時に市の債権の名寄せを実施され回収を措置されたい。
- 広告収入を確保されたい。
- 指定管理者制度の検証と委託費増額をされたい。具体的には、収支報告・活動報告について混乱を引き起こさないよう、年度初めから適切な指導をされたい。各担当課によって指導や書類記載の内容が著しく異なることの無いよう、基礎的部分においては、盛岡市共通のひな形とされ、従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。

◎ 市民部関係

- 町内会への補助金を増額されたい。
- 特定の市民に複数の役職が集中している実態を把握され、市民参加が市民負担となっていないか実態を調査されたい。
- 自転車事故防止のために、自転保険制度の周知や車道の左側走行と夜間ライト点灯の指

導を引き続き強化していただきたい。

- 早期に同姓パートナーシップ条例を実現していただきたい。そのためのパブリックコメントを実施されたい。
- 国民健康保険税の据え置きを続けていただきたい。また、子育て支援の観点から国保の「子どもも均等割減免」等を踏んだ制度にされたい。
- 空き家の再活用や管理を不動産会社と連携して徹底されたい。
- 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン 30 の計画的な導入を促進されたい。ゾーン 30 の導入ができない通学路は速度の出ない道路構造とされたい。
- 町内会管理の自立柱の大規模修繕の際の支援策を講じられたい。

◎交流推進部

- 冬季国際スポーツ大会誘致を促進されたい。
- 友好都市等や盛岡市在住の外国人との交流を通じ、市民に国際感覚の醸成を図られたい。
- 体操競技力向上のために市の施設における体操専門の施設使用ができるようにされたい。
- 観光関連団体との連携強化と役割分担を徹底されたい。
- 観光行事の予算配分を増額されたい。

◎環境部関係

- 資源再利用を促進するためにストックヤード設置した際に雪捨て場同様の固定資産税減免制度の導入と補助率の増強を図られたい。ストックヤード設置補助は通年受けられる体制とされたい。
- 気候変動や環境問題についてその改善のために市民ができることを周知されたい。
- エネルギー供給先を見直し電気料金の削減を実施されたい。
- エネルギーシフトをはかり、地産のエネルギー自給率の向上を図られたい。
- 中小水力発電や風力発電、木質バイオマス発電の積極導入やスマートハウスの導入などエネルギー施策の展開と地域活性化の導入策を図られたい。
- ゴミ処理広域化における新クリーンセンター最終候補地の決定は地域住民の合意を前提とされたい。
- ゴミ集積所における貸監視カメラ事業を実施されたい。
- ごみ減量化に向けた具体的工程表を示されたい。またゴミ処理広域化の前提となる「ゴミの分別方法」の統一について工程を示されたい。
- ごみ減量の観点から「フードドライブ」を推進されたい。
- 気候変動対策の強化をされたい。盛岡市として「非常事態宣言」を発表して対策を講じられたい。

◎ 保健福祉部関係

- 新型コロナウイルス対策について情報提供の在り方や PCR 検査体制の拡充を含めその対策について推進されたい。
- 新型コロナ対策関連の自殺対策を強化されたい。
- 健康寿命の増進策およびインセンティブの導入を図られたい。
- 介護保険料の値上げを押さえられたい。
- 生活保護の適正な執行をされたい。自立支援の強化とあわせて、不正受給対策を強化されたい。
- 生活困窮者への中間就労支援を実施するための支援をして頂きたい。
- 介護施設の増設、定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。
- 身体・知的障害など複数の障害のある人の支援策を強化されたい。
- 障がい者が地域で暮らせるよう仕組みづくりを講じられたい。特に、障がい者の高齢化に対して、施設設備の整備を推進されたい。
- 難病患者に対する各種支援を講じられたい。また癌患者など闘病中で就労を希望するひとへの就労支援を御検討いただきたい。
- 障がい者や癌など治療中の方々の雇用を促進するための対策を図っていただきたい。
- 生活困窮支援事業の学習支援を小学生、高校生にも拡大されたい。
- ひきこもり実態調査に則った具体的な支援策を実施していただきたい。特に中高年のひきこもり対策を講じられたい。
- 身寄りのない高齢者等が入院・介護施設等へ入所する際の身元保証ができる制度を実施されたい。
- 成年後見人制度の充実とその養成に力を尽くしていただきたい。

(保健所)

- 動物愛護センターの設置を早急に実施されたい。
- 保護動物の怪我や体調不良に対する治療を充実されたい。
- ペットの適正な飼育に対する啓発活動をされたい。

◎ 子ども未来部関係

- 特定不妊治療に対する助成内容の充実をされたい。また市単独での助成上乘せを実施されたい。
- 誕生死（死産）を経験した母親のケアを強化されたい。
- 児童クラブ未設置地区への早期の対応をされたい。
- 通年を通じ待機児童の解消を図られたい
- 子ども食堂など子どもの居場所づくりが広がっているが、様々な地域の年代の方が交流できるような情報提供や啓発をされたい。
- 子ども未来基金の周知を積極的に行って頂きたい。
- 児童虐待に対する市民への啓発を強化して頂きたい。また、受胎時からの切れ目ない支援を実施する体制を強化して頂きたい。また、そのための人員配置は不足のないようにされたい。
- 児童虐待について周知啓発の際に、虐待をしている親もパートナーから DV を受けている被害者であることも想定して児童虐待の啓発活動をされたい。
- 子どもの居場所づくりや健全育成に関わる高校生・大学生に対し単位認定や内申書記載などを諮って頂きたい。

◎ 商工労働部関係

- 新型コロナウイルス感染症における経済の落ち込みの下支えを強化されたい。
- 国際会議場の設置および国際会議の実績を積んで頂きたい。
- 空き店舗対策の拡大と屋守事業などの仲介事業を市の事業として行えるよう、街中再生にむけた支援策を講じられたい。また、テーマ性をもった活用も考えていただきたい。
- ハローワークと連携した能力向上訓練の内容を充実して頂きたい。その事業の周知をされたい。
- 人口の社会減を減らすため、労働人口の目標値を定め雇用拡大を図られたい。
- 盛岡市としての中小企業振興条例の制定を行い、中小企業振興を実効あるものにされたい。
- 観光における二次交通（バス、タクシー・レンタル自転車）利用促進策を講じられたい。
- 一日観光切符など鉄道・バス・観光施設一体となった切符を発行して頂きたい。
- つなぎ温泉の活性化や観光業の活性化を図られたい。
- 産業まつりを盛大に開催されたい。工業系や誘致企業が市民に見るような展示として広い会場で実施されたい。

◎ 農林部関係

- 新規就農者になりたいと思うような情報の提供や施策を講じられたい。
- 生産地の食を生かした地域活性化策を推進されたい
- 林業振興策や森林の活用策を具体的にしめされたい。
- 六次産業化の強化をされたい。農家レストランや農家民宿を推進する施策を図られたい
- 生產品の販売網の開拓や強化とあわせてまた、高付加価値品の栽培を検討されたい。
- 農業と福祉分野の連携を促進されたい。高齢者・障がい者の生きがいのための農業との連携を推進されたい。
- 福祉や教育、コミュニティ形成のための事業に利用する場合、遊休地、耕作放棄地を斡旋する仕組みを検討されたい。
- スマート農業の促進を図られたい。
- 農業機械の買い替えに対する支援策を講じられたい。
- 産官学連携による農業系大学卒業の女子の就農・定住支援を図られたい。

◎ 中央卸売市場関係

- 卸、仲卸の経営実態を的確に把握されたい。
- 市場活性化ビジョンを着実に実行されたい。
- 空き施設の活用と家賃収入を確保されたい。
- 他市場の改革成功例を取り入れ市場の活性化に取り組んでいただきたい。

◎ 建設部関係

- 大型の山車が運行できるよう信号機や電線のあり方を検討されたい。
- 市営住宅における家賃の適正な納入を促進されたい。
- 市道津志田白沢線第Ⅱ工区の早期全線開通をされたい。
- 中心市街地における使い易い駐輪場の増設を図られたい。
- 田沢湖線前潟駅の早期開業をされたい。
- IGR 下田駅について方針を早急にしめされたい。
- 岩手飯岡駅の駅周辺の活性化を図られたい。
- 仮称南仙北駅の総合計画への格上げを図られたい。
- 山田線と花輪線を活性化されたい。山田線は宮古市と活性化協議会をつくり活性化や国の補助金の導入、観光活用についても盛岡市が主導で実施されたい。
- 東北本線の活性化（IGR と相互乗り入れ）や転換クロスシートの設置を要請されたい。
- IGR の車両更新には転換クロスシートの導入を促されたい。
- 仙北町駅橋上化の早期実現をされたい。
- 狭隘道路の改良の促進を市内全域で図られたい。

- 仮称南青山アパート災害公営住宅付近の渋滞緩和に努められたい。また、ふれあい橋拡幅の早期実現をされたい。
- 高齢者の買い物支援等のためのコミュニティーバスを導入されたい。また、原則としてすべてのバス停にベンチを設置するために隣接民有地と固定資産税の減免や提供者へ表彰する制度の創設等ベンチ用地の確保策を促進されたい。バス停の間隔が空いている区間には中間のバス停を増設していただきたい。
- 公共交通空白地域を作らないようデマンドタクシーや地域コミュニティーバスの運営について市として具体的な施策を講じられたい。
- 国道46号線の盛岡から秋田県境までの高規格化をされたい。
- 松川・南川の安全対策を講じるよう県に働き掛けられたい。
- バス路線で街路樹等が走行中のバスに当たっている現状がある。剪定や管理の徹底を図られたい。
- 内丸官庁街の再開発計画を策定して、県をはじめ各施設管理者との話し合いを始めていただきたい。
- 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備の促進、また中心地以外の内水想定区域を早期に示されたい。
- 環状交差点（ラウンドアバウンド）の導入を図られたい。
- 県営野球場南側の交差点、高松小学校側から北山トンネルへ行く道路に右折レーンを設置されたい。
- 飯岡十文字からシティーマラソン折り返し地点の旧盛岡和賀線と現在の盛岡和賀線の交差点について市道側から和賀線に右折信号機を設置されたい。
- 市道中太田31号線、上太田68号線の舗装改築をされたい。
- 私道の舗装・同2次改築や側溝の清掃に対し支援策やボランティアとの調整を図っていただきたい。

◎都市整備部関係

- 空き家の再活用や管理を不動産会社と連携して徹底されたい。
- 盛岡城の再建をされたい。
- 松園団地や桜台団地、湯沢団地などの団地の再生化にむけた活性化策を講じられたい。
- 新たな土地利用をする地域での電線地中化や景観意匠施策、地中熱利用による融雪対応、自然エネルギーの導入など環境配慮した住宅街を形成するためのモデル地区をつくられたい。
- 景観力が向上するような施策を展開されたい。違法看板への対応を強化されたい。
- かわを生かした街づくりを推進されたい。
- 盛岡城跡公園のP-PFIの実施は十分な市民合意を取った後に具体的な設計を行っていた

だきたい。そのため、公園内の建物の設計や事業内容等の情報は市民への周知を図っていただきたい。

● 岩山公園整備について総合的な岩山地区活性化計画を推進して頂きたい。道路整備や旧漆芸美術館の活用を促進されたい。また盛岡動物公園については計画の進行状況等を出来るだけ細目に市民に提供していただきたい。

● 市街化調整区域における空き家の農家住宅等の売買について一定の緩和措置を講じられたい。

● 通勤通学路のブロック塀の安全対策を講じられたい。撤去をする際の補助制度を継続実施されたい。

● かわまちづくりを推進されたい。

◎ 上下水道局関係

● 上下水道事業における老朽施設の計画的な更新を促進されたい。人口減少に対する施設の集約化や技術の継承を図られたい。

● 鉛管の交換を早期に完了されたい。

● 水道事業広域化にむけた工程や概要を早期に市民に示されたい。

● 新米内浄水場整備の全体像を市民に公表されたい。

● 下水道熱の利活用をされたい。

● 未利用地の売却や有効活用をされたい。

◎ 市立病院関係

● 持続的に医師の確保につとめられたい。

● 累積債務の圧縮のために早期に対策を講じていただきたい。

● 訪問診療の充実が図られたが往診診療との連携を図られたい。

● 材料費削減に向けた取り組みをされたい。

◎ 教育委員会関係

- 教育予算を増額されたい。そして屋根塗装・老朽校舎整備・プール改修、トイレの洋式化など教育条件整備に努められたい。
- 不登校生徒に対する野外事業や体験事業を支援されたい。
- 学力の向上とあわせて全国平均を下まわる体力の一層の向上策を講じられたい。
- 職業観・社会観の醸成をされたい。そのために地区の人材を講師として招聘されたい。
- 盛岡市立高校を個性的で魅力的な高校にされたい。県教育委員会まかせではない、市教育委員会の独自の人事制度や教員配置を通じ、生徒の集まる環境を整備されたい。
- 市内全域の学校教育施設等の整備促進計画案の公表（統廃合含む）をされたい。
- 小学校や中学校の部活動にかかる費用を支援して頂きたい。大会等の旅費について運動部・文化部にかかわらず拡充を図られたい。
- 学校司書の配置の充実を図られたい。
- 学校弁護士事業（スクールロイヤー）を開始されたい。
- 就学援助金の拡充をされたい。
- 小中高における特別支援学級の充実をされたい。
- 情報教育の更なる推進に向けて、ICT 環境整備・指導者育成に努めること。
- 市指定文化財を県指定・国指定に再評価していくよう働きかけられたい。
- 各分野の伝統文化の担い手の相互交流を促進する機会をつくっていただきたい。
- いじめや自殺防止のため、LGBT を含む人権教育の強化に取り組まれたい。
- 私費の抑制に努められたい。
- 不登校の子ども達へ通信制高校の紹介を実施して頂きたい。
- 全国の山村留学の情報の提供をされたい。
- ICT を活用した遠隔による授業参加ができる仕組みを早期に講じられたい。
- 市立学校における制服の自由選択制の導入をされたい。
- 性的マイノリティーの子供たちが性別自任や性的指向に気づいた際孤独あるいは暴力を受けることを防ぐためにジェンダー・セクシュアリティ教育を推進されたい。
- 教職員や保護者に対してジェンダー・セクシュアリティ教育を推進されたい。
- 学校給食費の公会計化を推進されたい。